

2020年11月13日

各 位

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明
(コード番号 2743 JASDAQ)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長 山元 俊
電 話 03-6731-3414

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2020年12月期第3四半期決算において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社連結子会社であるピクセルエステート株式会社（以下「PXE」といいます。）において、太陽光発電関連事業者（以下「売主」といいます。）より太陽光発電施設5案件の買取りに係る譲渡契約を締結しておりました。売主からは完成した太陽光発電施設の引渡を受ける予定でしたが、工事進捗の遅延が見受けられ、改善を求めたものの、工事遅延が改善されなかったことから、PXEから直接工事会社に確認したところ、売主から工事代金の支払いがなく工事進捗できていないということであったことから、PXEが主導する形で直接工事会社に工事代金の一部を支払うことにより工事完成に向けて取り組み、太陽光発電施設4案件を完成させ、エンド顧客への売却を完了させました。

しかしながら、太陽光発電施設1案件については、工事進捗がなく、当該1案件を完成させるためには、追加でPXEが立て替える工事代金が多額となり、資金の回収の観点から当該1案件に係るFIT権利等のみの売却を行ったことから、当該1案件の譲渡代金の一部として支払っていた設備代金相当額62百万円を貸倒損失として計上いたしました。

また、PXEが売主に代わり工事会社に立て替えて支払った工事代金9百万円が売主に対する未収入金として残っており、当該1案件の引渡時に残代金と相殺することで回収を計画しておりましたが、当該1案件をFIT権利等のみで売却したことにより工事代金9百万円についても貸倒損失として計上いたしました。

なお、今後も継続して、売主との間で当該工事代金の一部の回収に向けた協議等を進めてまいります。

2. 連結業績に与える影響

本件による業績に与える影響につきましては、本日発表いたしました「2020年12月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」のとおりであります。

なお、2020年12月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、合理的な算定は困難であることから未定としております。業績予想については今後、合理的に算定可能となった時点で、速やかに公表いたします。

以上